

和歌山電鐵平成24年度決算

輸送人員は1.6万人の減少、赤字は減少せず

輸送人員は.7%の減

開業から丸7年が過ぎた和歌山電鐵は、24年度決算を発表しました。

定期外については、23年度の東日本大震災等による減少の反動増、および特に香港を中心とした海外からの観光客の急増により、対前年比3.9%の増加となりました。

いっぽう、通勤定期については、団塊の世代の退職等に伴い、3.9%の減少となりました。また通学定期についても、少子化の影響からか2.2%の減少となりました。

この結果、年間総輸送人員（定期外・定期の合計）では0.7%、1万6千人の減少となる216万6千人となりました。「チャレンジ250万人 あと4回乗って永續させよう」キャンペーンの初年度としては、厳しい数字となりました。

運輸収入はほぼ前年並み、経常赤字は増加

運輸収入は、定期外の比率の増加により、対前年比0.6%の増加となりました。

その他グッズ販売および貴志駅「たまカフェ」事業については、海外からの観光客の増加により、ともに前年度を上回りました。

経費については、ふるさと雇用事業の終了に伴う負担増に対し、いっそうの経費の削減、支出の先送りに対応しています。

この結果、売上高は3億3,800万円、また経常損益は8,160万円の赤字となり、何とか6期連続で和歌山市・紀の川市による運営補助金（上限8,200万円）の範囲内となりました。

しかし今後も、地方経済回復の遅れ、少子高齢化、そして公共交通離れなど、依然として厳しい経営状況が続くことが予想されます。

輸送人員の推移



「チャレンジ250万」

住民の力で乗客増やし永續させよう!!

行政の支援はあと3年。

あと4回多く乗って自立経営めざそう!



廃線の危機を乗り越える

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫

今貴志川線は『和歌山電鐵』により毎日運行され住民の生活の足を守ってくれています。経営状況は色々な経営努力により、10年前に比べて大幅に改善し、乗客も外国からの観光客もあって増加してきています。しかし残念ながら黒字安定経営というところまでは行っていません。このままでは2年後再び廃線の危機に直面します。

10年前に経験した貴志川線の廃線の危機を今一度思い起こしてください。当時まったく突然南海電鉄が『貴志川線から撤退をする』と表明しましたから、利用してきた我々住民にとっては晴天の霹靂でした。

10年前に立ち返り、貴志川線が廃線となっていたと考えますとどのようなになっていたでしょうか。貴志川線は年間200万人以上の人たちが利用しています。これらの人たちの交通手段がまったく無くなってしまうのです。これに代わる交通手段が確保できたか、考えてみてください。一部の自家用車を使用できる人たちは確保できたかもしれませんが、今の道路状況のままですと、渋滞が大幅に

増加しスムーズな走行は困難で時間は大幅にかかります。渋滞を解消するための道路整備には膨大な費用と時間がかかります。

学生生徒や高齢者や幼児などいわゆる交通弱者にとっては、お手上げ状態まったく手立てはありません。バスを走らせる案もあるかもしれませんが、バス運賃は鉄道の倍以上になることが予測できますし、道路状況から見ると定時性も保障されず上記のとおり、大変厳しいものがあります。

この状態を乗り越えるための手段として『チャレンジ250万人』運動を実施しています。廃線をくい止めるには利用促進、乗客数を増やす必要があります。今より年間33万人の乗客増が必要です。そのためには貴志川線沿線住民(約8万人)が今より多く年間2往復、4回以上多く利用していただくと達成できる計算になります。是非全員が今より年間4回以上のご乗車ご利用をお願いいたします。

行政には引き続いての支援と、公設民営(上下分離方式)を求めています。

2013年度(平成25年)役員名簿

(平成25年4月13日第1回定例会確認)

役職	名前	役職	名前
代表	濱口 晃夫	幹事	西本 哲夫
副代表	奥 重 視	//	川口 昌宏
//	木村 幹生	//	稲置 佳広
事務局 長	奥山 和生	//	織田 元宏
事務局 次長	奥 重 貴	//	森山 正雄
//	堀内 健作	//	中川 隆人
//	川村 記義	//	藤田 宗治
//	富高 彰	//	内芝 あずさ
会計 幹事	堀 瑛	//	山本 滋子
//	杉林 雅義	//	住山 裕美
//	中西 由子	//	藤原 一樹
//	小山 裕史	//	次田 尚弘
//	吉本 昌純	//	露 詰 勤
//	岩 垣 勉	監査	山本 好延
//	山下 日出子	//	中西 充子
//	梶本 祥子		

貴志川線の未来を“つくる”会

25年度 新規継続 入会募集中です

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。25年度会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会費 年額1,000円 (期間:加入日に関わらず2014年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

(事務局)和歌山市伊太祈曾558 伊太祈曾神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームで受付 7月4日(木)、5日(金)、6日(土)15:00~19:30

貴志川線の未来を“つくる”会 平成25年度活動計画 (2013年)

～住民の熱意と行動で利用者を増やし永続を確実にするための活動を進めます～

貴志川線は7年連続して赤字決算が続いています。自治体からの運営費補助が決まっているのは2015年までであと3年を切りました。自立経営できる乗客250万人にはあと33万人足りません。自立経営による永続を目指して「チャレンジ250万人運動」を中心に地域住民の熱意と行動で活動を進めます。

I. 基本方針

和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して、地域の財産、住民の足「貴志川線」を自立経営で永続させるために、乗車人員250万人の実現をめざして、まちづくりの活動と結び力を合わせて取り組みます。

II. 貴志川線の現状と課題

貴志川線は7年連続赤字決算が続いています。廃線の危機にあった南海電鉄貴志川線を和歌山電鐵が継承して7年。年間200万人を切っていた乗車人員は約220万人に増加し、地方鉄道再生のモデルと言われていますが、開業以来毎

年赤字経営が続く状況は続いています。

24年度決算においても、運輸収入は対前年比100.6%の3億2,359万円とやや増となったものの、引続き8,160万円の赤字となり、輸送人員は定期外が東日本大震災、紀伊半島大水害の影響で落ち込んだ2011年度を上回りましたが、沿線人口の減少などにより定期が減少し216万6千人と昨年度に比べ1万6千人減少し「チャレンジ250万人」運動の初年度として厳しい結果となりました。

「たま駅長」の経済効果11億円などマスコミに多く取り上げられることから住民の中にはもう大丈夫との雰囲気がありますが、実態は7年連続の赤字経営であり、自治体からの運営費補助で経営が続けられている状態で、民間会社である限り残る3年で自立しなければ再び廃線の危機を迎えることとなります。

収支均衡による自立には乗車人員250万人が必要で、24年度で216万6千人ですから33万人強不足しています。観光客誘致と合わせて、何よりも沿線住民の利用を増やすことが自立による永続への鍵を握っています、乗車人員増加へ自治体や関係団体、地域と連携してまちづくりと結び、積極的な取り組みを行う事が求められています。

III. 重点目標

- (1) 貴志川線の自立経営へ輸送人員250万人の実現を目指して引続き活動を行います
 - ①利用者を30万人増やすため、「チャレンジ250万人」の2年目の運動に取り組みます
 - ②完全な上下分離方式による経営実現を目指して、和歌山電鐵と協働して取り組みます
- (2) 快適・便利で利用しやすい貴志川線をめざします
 - ①伊太祈曽～貴志間の増発を実現するため、大池遊園駅の対向設備の復活を引き続きめざします
 - ②日前宮～神前駅間に新駅の設置を引き続きめざします
 - ③駅設備、ダイヤ、サービス、収入増などの要望集約と提言をまとめ実現を求めていきます

IV. 具体的な取り組み

- (1) 地域活性化と結び住民の声と想いを結集して活動できる組織づくりに取り組みます
 - ①今年も会員3000名以上を目標に入会の呼びかけを積極的に行います
 - ②チャレンジ250万運動の強化へ、利用呼びかけと意見・要望をお聞きする自治体懇談会「こんにちは貴志川線です」(仮称)を和歌山電鐵と協力して開催します
 - ③「山東まちづくり会」など地域活性化の活動を進める皆さんとの協働行動に取り組みます
 - ④「定例会」出席とボランティアスタッフ登録・参加を積極的に呼びかけます
 - ⑤会員限定イベントの開催など、会員特典の実現に取り組みます
 - ⑥ホームページ、貴志川線ニュース、会報などを通じ広報、宣伝、啓発活動に取り組みます
- (2) 利用促進と“日本一こころ豊かなローカル線”づくりに取り組みます
 - ①沿線住民へ「あと4回多く乗って永続させよう」の周知を積極的に行います
 - ②利用促進へ和歌山電鐵と協働、協力して各種イベントを開催します
 - ③大池遊園にかつての賑わいを取り戻すため「大池遊園桜まつり」を引き続き開催します
 - ④今年も「第8回貴志川線祭り」を開催し、地域との結びつきを強めます
 - ⑤会員、利用者、沿線住民の要望、提案を集約し、和歌山電鐵や貴志川線運営委員会に提言します
 - ⑥「全駅調査」による駅清掃・整備計画を策定し、各駅の美化・整備活動に取り組みます
 - ⑦観光客やリピーター誘致へ、「利用マナー向上」と「手を振る運動」に取り組みます
 - ⑧「さくら街道 貴志川線」に引き続き取り組み、花のあふれる沿線作りに取り組みます
- (3) 地方交通の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組みます
 - ①学習会、シンポジウム、ワークショップなどの開催と、参加に取り組みます
 - ②地方鉄道を守り、発展させる活動を行っている諸団体との交流、協働に取り組みます
 - ③「交通基本法」の早期制定を求めるとともに、政策学習と資料の収集、活用に取り組みます



一層のご利用を
お願いいたします

～貴志川線が、再び廃線の危機を迎えないために～

チャレンジ 250 万人 あと4回多く乗って永続させよう

和歌山電鐵では、収支均衡による自立には年間250万人の乗車人員が必要とみており、平成24年度の乗車人員数216万6千人と比較して、あと33万人増やす必要があります。

観光のお客様を増やすことと合わせて、何より私達沿線住民の利用を増やすことが永続への鍵を握っています。「つくる会」では和歌山電鐵とともに乗車人員250万人の実現を目指して「チャレンジ250万人」を提唱し、あと4回（2往復）多く乗っていただく事を沿線住民の皆様に訴える活動を行なっています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

貴志川線沿線に
お住まいの皆様
約7～8万人

が

あと4回(2往復)
多く乗る

ことで

年間利用者数
250万人の達成

へ

利用しやすい、きれいな駅へ 全駅調査行いました

「貴志川線の未来をつくる会」では、12月28日全駅（14駅）の「点検調査」を行いました。この調査は利用しやすい、便利できれいな駅とするため現状を把握して、今後の駅美化・整備の計画をたてるために行ったものです。

調査にはつくる会役員など12名が参加、6班に分かれて2から3駅を担当し電車で移動しながら「点検シート」により、駅上屋やトイレ、プラットホームの状態や駅周辺の清掃状態、掲示板やチラシ受け、置き傘の設置状況など30項目の調査を行いました。

点検終了後開かれた「つくる会」定例会で各班から報告を行い、調査結果をまとめて駅清掃やペンキ塗り大会などの今後の駅整備・清掃の行動計画を作り、取り組んでいくことと、改善点について電鐵に要望していくことを決め、取り組んでいます。

「貴志川線ニュース」が生まれ変わりました

「貴志川線ニュース」と「貴志川線沿線ガイド」は「貴志川線の未来をつくる会」が定期的に発行し、沿線情報やつくる会の活動、イベント開催案内などの情報発信に長年その役割を果たしてまいりました。

この度双方を統合した上で、発行を「貴志川線運営委員会」とするA4版両面カラーの新しい「貴志川線ニュース」に衣替えを行い、貴志川線に関する総合的な情報紙として、沿線の最新の情報を利用者や関係者の皆様にお伝えすることになり、第1号（通巻40号）を24年10月1日に発行しました。引き続きご愛読をお願いいたします。

行先方向幕が変わりました

皆さんご存知だったでしょうか、25年1月7日より電車前頭の行先方向幕が変更されました。

従前は「和歌山⇄貴志」のように始発・終着双駅表示の行先方向幕でしたが、観光客が増えて行き先がわかりづらいとの声に応じて電鐵が変更し行先をわかりやすくしたものです。

「和歌山」「貴志」は白地に黒文字で、「伊太祈曽」のみ黒字に白文字、また、「回送」「団体貸切」「臨時」は白地に赤文字となっています。



憂楽帳



未来への「きっぷ」

015年度までで、以降は「白紙」運賃収入で自立できる乗客年間250万人にはまだ30万人足りない。危機感を募らせた地元住民の発案を受けて売り出したのがこの切符。約7万人の沿線住民があと4回乗れば、目標を達成できる計算だ。赤字に耐えかねて、全国で地方鉄道の廃止が相次ぐ。一番打撃を受けるのは車に乗れない学生やお年寄りだ。地域の足を自分たちで守る——経営状態は厳しくとも電鐵も住民も自立を目指し、アイデアを凝らす。その心意気こそ、未来への「きっぷ」なのかもしれない。【水津聡子】

2013. 4. 20

廃線問題当時、和歌山支局に在籍され関心を持って取材し報道して頂いた水津記者のコラムを許可を得て転載します。



▲ '12/8/26
「第6回貴志川線祭り」
チャレンジ250万
キックオフイベント
4,200人が来場

▲ '12/6/23
会報と会費振込票発送作業
60名が参加して2,500通を封入



▲ '12/9/3
「チャレンジ250万カ
ウントボード」を和歌
山駅9番ホームに設置

▲ '12/11/24
「名松線を元気にする会」(三重県)
貴志川線視察、地方鉄道活性化へ
各団体と交流



▲ '12/12/1
「迎春準備」貴志駅にイ
ルミネーション取付、
伊太祈曽駅に門松設置

▲ '12/12/8
「全駅点検調査実
施」設備、清掃状態
など調査、美化計
画策定



▲ '13/1/26
「駅からウォーク&ハイク」パート
2 12月~3月に3コースで開催

▲ '13/4/14
「第8回貴志川線に乗っ
てタケノコ掘り」3日開
催し220名が参加

2012年 (平成 24年)

- 6月 9土 24年度第5回定例会 以降週2回年度内23回開催
- 10日 「第5回貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」(397名)
- 21木 24年度第3回貴志川線運営委員会 以降月1回12回開催
- 23土 24年度会費納入依頼文書・会報発送(スタッフ60名)
- 29金 ~7月1日 和歌山駅9番ホームで会費受付
- 7月 1金 高知県「ごめんなはり線シンポジウム」パネラー
- 7土 「第6回貴志川線祭り」第1回企画委員会(計3回開催)
- 12木 JR西労組地方議員団会議研修貴志川線視察
- 8月 2木 いちご電車座布団贈呈式
- 11土 貴志駅多客期応援、12、13、14、15各日(延べ17名)
- 17金 紀の川市貴志川町幼稚園・保育所訪問(貴志川線祭りPR)
- 25土 「第6回貴志川線祭り」準備作業(16名)
- 26日 「第6回貴志川線祭り」伊太祈曽神社・駅(来場者4200名)
- 29水 和歌山市市東部連合自治会長訪問「250万人」協力要請
- 9月 3月 「チャレンジ250万人」カウントボード設置(和歌山駅)
- 10月 1月 「貴志川線ニュース」第1号(通巻40号)発行
- 7日 紀の川市西貴志コミセン祭り出店(グッズ販売・入会受付)
- 10月 13土 ~14日 わかやま商工まつり ミニ電車運転、グッズ販売
- 17水 新潟県在来線開業準備室 視察・意見交換
- 20土 「わかやまくみあい祭り」ミニ電車運転、グッズ販売
- 27土 「第33回労働者福祉祭り」ミニ電車運転、グッズ販売
- 11月 4日 「駅からウォーク&ハイク」第1回下見・整備(高積山)
- 18日 「会費納入再要請」文書発送作業(532通)
- 24土 紀の川市婚活電車(きのかわ恋むすび)応援
- 12月 1土 「名松線を元気にする会」(三重県)貴志川線視察
- 8土 わかやまツアーデマーチ(たまちゃんコース)グッズ販売
- 15土 貴志駅イルミネーション取付作業(15名)、点灯式
- 22土 「全駅点検調査活動」設備・清掃状態等(12名)
- 18日 「駅からウォーク」パート1、龜山神社~名草山(36名)
- 24月 「クリスマス電車」プレゼント袋つめ作業(11名)
- 24月 「クリスマス電車」運転 応援(12名)
- 24月 迎春準備準備 門松製作、伊太祈曽駅に設置

2013年 (平成 25年)

- 1月 5土 貴志駅イルミネーション撤去作業(12名)
- 14月 「みんなで乗って残そう神鉄栗生線北区連絡会」学習会講師
- 19土 「たなべ土曜講座」(田辺市中央公民館主催)講師
- 26土 「駅からウォーク」パート2、四季の郷~高積山(89名)
- 2月 3日 じゃがいも苗植え付け作業(全体約50名、つくる会10名)
- 16土 「駅からウォーク」パート3、大日堂~岡崎御坊(96名)
- 21木 「ミニたま電車」贈呈式(和歌山工業高校生製作)
- 24日 「貴志川線に学ぶ鉄道利用促進シンポ」飯網町、基調講演
- 3月 7木 「第7回貴志川線祭り」第1回企画委員会(計2回開催)
- 9土 和歌山市吹上公民館「和市東部を巡るバスツアー」現状報告
- 14木 「いちご電車でいちご狩り」応援(3名)
- 16土 「わかやま応援館たま電車」出発式(岡山)(3名)
- 24日 大池遊園駅桜祭り準備、提灯飾り付け、清掃(12名)
- 4月 1月 EGLツアー袁総経理(香港)和歌山県観光大使委嘱式
- 4木 「第8回タケノコ掘り体験」抽選会(3回開催応募者269名)
- 7日 「第1回大池遊園桜祭り」「春みーつけたハイキング」
- 13土 24年度第1回定例会(以降6月8日で5回開催)
- 14日 「第8回貴志川線に乗ってたけのこ掘り体験」①(102名)
- 18木 25年度第1回貴志川線運営委員会(以降3回開催)
- 20土 「第8回貴志川線に乗ってたけのこ掘り体験」②(82名)
- 27土 和歌山県中央メーデー ミニトレ運転、グッズ販売
- 28土 「第7回貴志川線に乗ってたけのこ掘り体験」③(96名)
- 5月 3金 ~・4・5 貴志駅GW多客期応援(延べ13名)
- 15水 移住・交流による地域活性化支援事業第1回実行委員会
- 17金 紀の川市貴志川町幼稚園・保育所訪問(貴志川線祭りPR)
- 25土 「第7回貴志川線祭り」準備作業(15名)
- 26日 「第7回貴志川線祭り」伊太祈曽神社・駅(来場者3500名)
- 31金 「第6回貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」抽選(応募414名)
- 6月 9日 「第6回貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」(360名)

もっと乗っていただくには どうしたら良いか考える毎日です



和歌山電鐵(株)

総務部長 麻生 剛史

和歌山電鐵は開業7周年を迎えました。総務部長である麻生剛史さんに、全国的に、そして国際的にも有名になった貴志川線の最近の状況や今後の課題について、伺いました。

会社スタート時の渡邊常務の後を受け、総務統括をされていますが、今日までを振り返っていかがですか？

中途採用で入社し、和歌山に来てからの8年間を振り返ると、正直に言って「悪戦苦闘」というのが第一印象です。その一番の理由は、「人手と経験」の不足でした。電車を安全に運行するということと、たくさんのイベント等でお客を増やすということの両方を、開業当初から追い求めてきました。対外的には華やかなイメージがあったかもしれませんが、組織としても個人としても成長途上の私たちとしては、試行錯誤の連続でした。

ただようやく、この1、2年で組織が固まってきたのではないかと思います。どうにか「現状維持」という状況から、前向きにレベルアップしていこうという仲間が増え、会社全体の底上げに向かいつつある気がします。

24年度の決算が出ましたが、その結果をどのように見られますか？

24年度から「チャレンジ250万人」運動として、乗客を今より30万人増やそうと呼びかけていますが、残念ながら乗客数は216万6千人となり、前年度よりも1万6千人の減少となりました。もっとも努力すべき余地があったのではという反省がありますが、海外からのお客様(特に香港、台湾)の急増に助けられ、大幅な減少は避けられました。

事業引継ぎ以降、20~21年度頃(たま電車の登場が21年3月)をピークに、ここ数年は若干の減少、伸び悩み、という状況です。引継ぎ前年の17年度は192万人でしたから、当時よりは12%ほど多い数字ではあるのですが。

新たなお客様を呼び込むための電車や駅舎のリニューアルといった投資も必要で、これまでもサポーターの皆様からの貴重なご支援もいただきましたが、利用促進のための補助メニューは一時期よりも少なくなっており、躊躇せざるを得ないというのが現実です。

有名になった貴志川線ですが、課題は何ですか？ 永続に向けどのように考えますか？

課題は第一に設備です。鉄道には大きく分けて線路・電路(電柱・信号・踏切設備等)・車両の3つの分野がありますが、それぞれで老朽化が著しいのです。分岐器の一部や変電所等は更新が終わったものの、全体ではまだまだ手付かずの所がたくさんあります。安全性維持のための当座の修繕は日々行っていますが、さすがにもう待たなし、という段階に来ているのが現状です。

現在の沿線両市による補助は各年度の赤字に対するものですが、今後は単に一民間事業者の経営問題としてではなく、公共交通の負っている役割を明確にしたうえで、線路・電路などの設備に対し、「社会基盤への投資」として公が分担する、という方向性をうち出していきたいと思っています。私たちの目標は、この会社を残すことではなく、「貴志川線」を永久に残していくことなのです。

少子高齢化や道路整備等、取り巻く環境はますます厳しくなりますので、駅や電車をもっと快適にしなければなりませんし、接客等のソフト面もさらに改善が必要です。いつもはマイカーを使う方々にも、「本が読める」「居眠りもできる」「事故にあうリスクが少ない」「歩くことで健康維持にもなる」…といった電車の良さを見直していただくきっかけを作り続けなければなりません。

仕事は全て厳しいものですが、では仕事をしていて楽しい事・嬉しい事はありますか？

お客様から「ありがとう」とか「いい天気やね」というさりげない一言や、「お早うございます」とあいさつを返していただけた時はとても嬉しいです。時刻表をポスティングしているときでも、「ご苦労やね」、「もう一枚おいてってよ」などと声をかけていただける仕事は、他にないと思いますし、仕事冥利に尽きると感じます。

「つくる会」などのボランティアに一言。

「ほんとうに有難うございます」という言葉以外にありません。私たちはボランティアでご協力くださることを、決して当たり前のことだと思わないよう、いつも肝に銘じなければなりません。でもそれが自然に感じてしまうほど、イベントや、駅でのお客様の整理、グッズの販売等々、社員だけではままたまらない部分でいつも助けてくださることに、心から感謝しています。

そして今後は、沿線の幅広い皆様との意見や情報の交換ができる場をもっと作りたくですし、自治会での会合等にも積極的に出席させていただきたいと思っています。

開業して7年経っても、この会の会員数が2,200人もいらっしゃることは普通では考えられません。皆様の熱い思いを受け止め、これからもがんばっていきたくと思っています。

納めていただいた会費の決算についてご報告いたします

皆様に納めていただいた2012年度（平成24年度）会費の会計決算について、2013年4月27日開催した第2回定例会（役員会）において、承認いたしましたのでご報告いたします。

- 収入は、2012年度（平成24年度）会員2,207名の会費と、前年度繰越金および寄付金、和歌山電鐵グッズ販売手数料、貴志川線祭り売上げ、預金利息等で収入総額は417万0488円となりました。
- 会員数は、昨年比26名の微減となりましたが、皆様のご協力で会発足以来引き続き2,000名以上を確保することができました。
- 支出は有効な支出で節減に取り組んでまいりました。主要な支出は「貴志川線祭り」をはじめ、「たけのこ掘り」、「じゃがいも掘り」、「駅からウォーク&ハイク」など利用促進イベント開催経費の事業費、会員の皆様への案内、会報送付などの通信費、三社参りの強化へ新聞折り込みを行った広告宣伝費で全体の約5割となりました。支出総額は昨年比10万2,025円の減となり、次年度繰越金を昨年比8万9,589円増で計上することができました。
- 繰越金の処理について、次年度繰越金156万9,489円は全額を次期一般会計に充当します。
- 「基金」および「特別会計」について
 - ①「貴志川線整備基金」について、行政の欠損補助が10年間の限定であり、貴志川線の施設、車両の老朽化が進んでいることからその対応に備えて2007年（平成19年）から積み立てているものです。
 - ②「ニュース和歌山25周年記念助成金」について、ニュース和歌山社様から2008年（平成20年）3月12日に寄贈いただいたものです。その用途を明らかにするため特別会計を設けて管理しており、当期支出はしておらず、預金利息181円が増となりました。

2012年度決算報告

〈収入の部〉

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	1,479,900	2011年度繰越金(会費預かり金8,000円含む)
会 費	2,207,000	2012年度会員 @1,000円×2,207名
雑 収 入	483,588	寄付金(103名様)、グッズ販売手数料、貴志川線祭り売上、普通預金利息等
合 計	4,170,488	

〈支出の部〉

科 目	金 額	摘 要
通 信 費	499,473	会費納入再要請郵送料金、年賀状、貴志川線祭り・じゃがいも掘り案内、印刷物郵送・メール便料金等
郵便振込料	153,570	会費振込料(つくる会負担) 1,349名分、(昨年会費及び寄付金振込含む)
事業費	1,300,085	貴志川線祭り等各種イベント開催経費、駅美化、イルミネーション、イベントガイド作成、会費徴収諸費等
広告宣伝費	296,100	三社参りちらし新聞折り込み、「チャレンジ250万」横断幕・のぼり
事務費	175,751	役員会会場・倉庫使用料、各種文具事務用品、コピー代、ホームページ費用等
交通費	172,020	イベント30件、スタッフ延べ190名の交通費実費
義 損 金	2,000	7月26日西貴志夏祭り出店(紀の川市) 災害義捐金
預かり会費	2,000	本年度会費に1名分充当
合 計	2,600,999	

会計監査報告

2013年4月25日

貴志川線の未来をつくる会
代表 濱口晃夫 殿

監 査 山本好延

監 事 中西亮子

貴志川線の未来をつくる会 会則第6条第8項に
もつぎ2012年度(平成24年度)会計監査を実施
したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2013年4月25日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2012年度会計
4. 監査期間 2012年4月1日～2013年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に
処理されていることを認めましたので
報告いたします。

以上

〈決算内容〉

収 入	4,170,488	
支 出	2,600,999	
次年度繰越金	1,569,489	(H24～H30年度会費預かり金2名分6,000円含む)

〈繰越金内訳〉

普通預金	1,371,525	(紀陽銀行国体道路支店)
現 金	197,964	
合 計	1,569,489	(預かり金6,000円含む)

〈基金内訳〉

定期預金	2,515,154	貴志川線整備基金(紀陽銀行国体道路支店)
------	-----------	----------------------

〈特別会計内訳〉

普通預金	751,057	ニュース和歌山25周年記念助成金(ゆうちょ銀行和歌山友田郵便局)
------	---------	----------------------------------

ひろば

会員や沿線の皆様のご意見をご紹介します。

通学に利用する小学生からコメントを頂きました

わたしは、朝と帰りの2回学校の通学で貴志川線に乗っています。電車の中は、カラフルでかわいいデザインだと思います。もっといろんな電車ができればいいと思います。たとえば、ホテルの電車や竹の子とみかんの電車ができればいいなと思っています。わたしは貴志川線がなくなると、とってもこまります。だから、「たま」みたいな人気者をいっぱいつくってほしいと思います。わたしも、いろんなアイデアを考えていきたいと思っています。

小学3年生 宮地 優さん(和歌山市津奈)

沿線にお住まいの方からコメントを頂きました

我が家のリビングから田んぼを介して貴志川線が見えます。2人の娘は「次は何電車が来るかな」「あっ!たま電車!行ってらっしゃーい」「バイバーイ」と毎日手を振って見えています。じゃが芋掘り、クリスマス電車、貴志川線祭りなどのイベントに参加させて頂き、とても楽しかったです。イベントへ向かう車中も、各電車内の特色を楽しみ、窓から見える景色や対向の電車などワクワクドキドキがいっぱい。娘達と共に主人も私もすっかり貴志川線の大ファンになりました。老若男女問わず。こんなにも魅了させてくれる貴志川線は素晴らしい財産です。もっともっと沢山のの人に知ってもらい、乗ってもらって存続してくれることを願います。

いつも明るく元気で優しい和歌山電鐵の皆さん、「つくる会」スタッフの皆さん、ありがとうございます。ずっとずっと応援しています。

金澤 直美さん(和歌山市井戸)

吉礼駅の花のお世話をして下さっている方からコメントを頂きました

私が、貴志川線に乗るようになって30数年がたちました。子育てや生活する中で大変お世話になっております。2年前より山東小学校の子ども達と吉礼駅に花を植えたプランターを置かせてもらうことになりました。そのプランターには、思い思いの絵が描かれており駅に来る人たちの心を和ませてくれます。待ち時間に花がらを摘んでくれたり、早朝より水やりをして下さる地域の方もあります。

みんなで見守り元気に育っている花々を、乗客の人たちが愛らしく感じて下されば幸いです。ひとりひとりにできることは小さなことですが、力を合わせれば生きた活動になります。

「鉄道は街づくりである」という原点から子ども達が大きくなって語りついでくれるような貴志川線の存続を心より願っています。

岩坪 華容子さん(和歌山市)

沿線のお店の方からお便りをいただきました

岡崎前駅から南徒歩5分の沿線で小さな喫茶店を営んでいます。出勤途中今日は、いちご電車かな?たま電車かな?おもちゃ電車かな?あっという間のひとときを、幼少の頃に引き戻してくれます。

私の協力出来る事は、当店に来店戴いたお客様又、お子様連れのお客様にイベントの御案内又盛り上がった御報告位です。

最近ですが当店の駐車場に車を置きお孫さんとタマちゃんに逢いに行ってくれました。岡崎前駅から貴志川線乗車の折は、東中学校正門右隣りの一番星の駐車場に置いて貴志川線に乗り、短い旅を満喫して来て下さい。

貴志川線の未来をつくる会の関係者様の毎回素晴らしいイベント楽しみです。頑張ってくださいね。

カフェ & 和ダイニング一番星(和歌山市相坂)

視察・交流・講師派遣

つくる会では、地方鉄道再生・活性化の運動の輪が広がることを願い、交流・視察受け入れなどにも積極的に取り組んでいます。

- H24年 7月1日 「ごめんなはり線シンポジウム」パネラー 安芸市民会館(高知県)
- 7月12日 JR西労組地方議員団会議研修貴志川線視察
- 10月17日 新潟県在来線開業準備室視察・意見交換
- 11月24日 名松線を元気にする会(三重県)視察
- H25年 1月14日 「乗って残そう神戸電鐵粟生線北区連絡会」学習会 講師(神戸市)
- 1月19日 たなべ土曜講座(田辺市中央公民館主催)
- 2月24日 「貴志川線に学ぶ 鉄道利用促進シンポジウム」基調講演(長野県飯綱町)

一緒に活動しましょう

定例会は月2回(第2・第4土曜日 19時から)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。

代表 濱口 晃夫まで

☎0736-64-6866

編集後記

「たけのご掘り」「貴志川線祭り」「じゃがいも掘り」などイベントが連続する中での会報編集作業、素人には結構きついものがありました。

編集委員の協力をいただき例年通りの時期に会員の皆さんに何とかお届けすることが出来てほっとしています。

赤字が続く中、行政の支援があと3年となった今、危機感を共有して「チャレンジ250万人」で「あと4回多く乗って」未来を安泰にしようという思いが伝われば幸いです。(和)